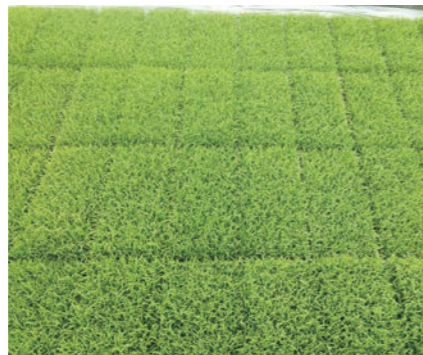


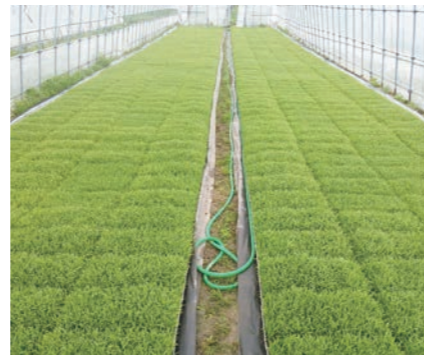
# 水稲用ロックウールマットの効果確認



試験区



試験区



試験区

## 試験目的

水稲用ロックウールマットの効果確認

## 試験作物及び品種

水稲

## 試験資材及び数量(規格)

クミアイこめパワーマット

## 慣行資材

培土

## 栽培方法

播種日

4月下旬

## 資材使用期間

4月～5月

## 試験区面積

500㎡

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

従来の土よりも非常に軽かったため作業はしやすかった。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

灌水方法が土と異なるため一部において生育のバラつきがでた。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：軽量で作業性に優れている点。

【問題点】：灌水に慣れれば特にないように思われる。

### (4)促成・抑制効果について

出芽が土よりも数日遅れていたが、最後には同じになった。

### (5)保温効果について

今年の気候では特に差は見られなかった。

## モニター感想

気をつけてはいたが灌水量が少なかったのか一部において生育のバラつきが発生してしまったが、慣れてしまえば問題はないと思われる。

それ以上に作業性という観点から見れば、苗箱の重量が半分程度にまで減ったので非常に有益な資材であると感じた。

## JA担当者の感想(資材課 棚田主査)

営農者の高齢化が問題となっている現状の中で作業の省力化に繋がる資材は非常に有益なものであると考えている。

技術的な要素はあるものの、今回試験を行ったこめパワーマットについても作業の省力化に繋がる良い資材であるので、今後も積極的に普及に努めていきたい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

作業の省力化に繋がる非常に良い資材なので継続して使用していきたい。